校長室から

ひがしなら通心

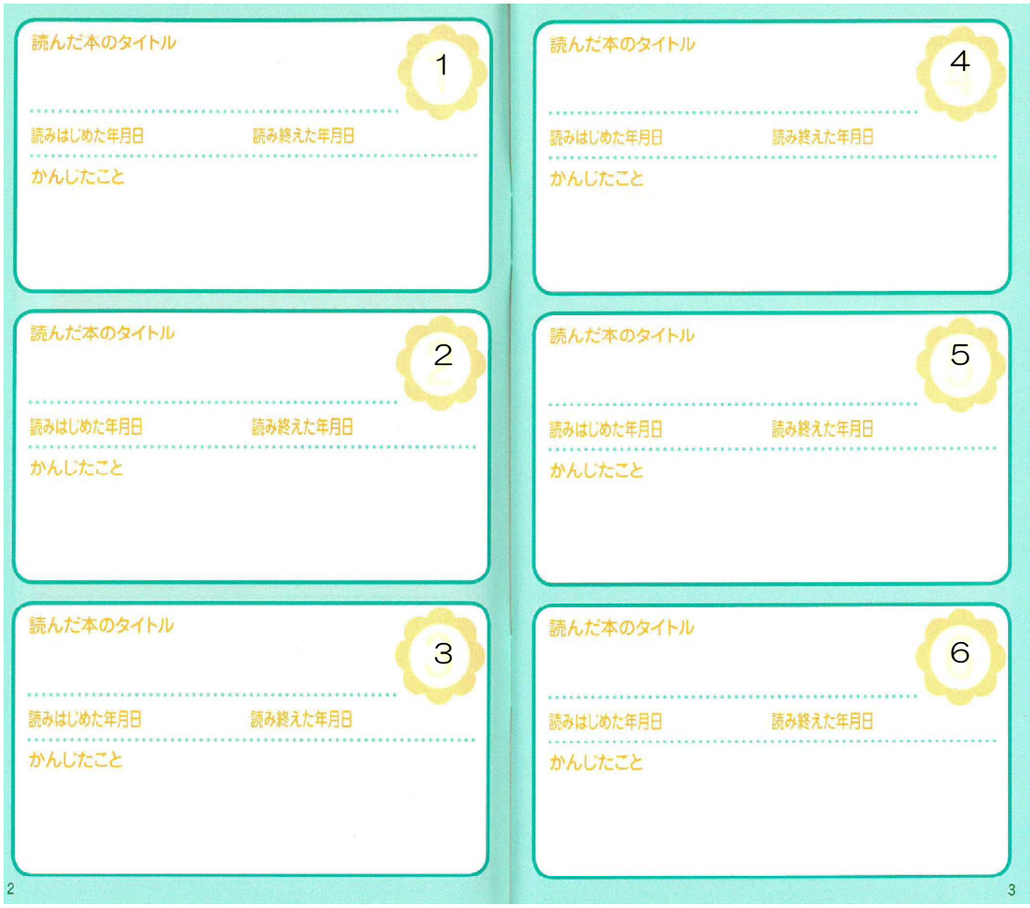
（Ｈ３０年度）　茨木市立東奈良小学校　川上　隆　Ｎｏ．１２

平成３０年５月３１日（木）発行

今年も、読書ノートをしませんか？

読書を続ける取組みの一つとして、「読書ノート」（大阪読書推進会）を今年もしてみませんか。応募してみたら、今年も見事に当たりました。

これは、大阪読書推進会と朝日新聞が提携している小学生向けの事業です。読書した記録をしながら読書を楽しみ､読解力を深めるために作成されました。１～４年生で読書を１００冊達成すると朝日新聞デジタルに、５･６年生なら５０冊達成すると朝日新聞と朝日新聞デジタルに、希望すれば氏名が掲載されます。氏名掲載は前期（９月）・後期（２月）のどちらかです。



１～５年生には、全員に読書ノートを配布しています。６年生は、学年の読書の取り組みがあるので、希望者のみ配布します。これを機会にご家庭でも、毎日１０～１５分の読書タイムを設けられてはどうでしょう。

新聞に限らず、読書で「文字をしっかり読む」ことは、脳を活性化させるという研究が科学的にも証明されています。その内容は、

１）発想力が豊かになる。
　・現実と違った見方や考え方を知ることができる。
２）脳トレになり、脳が活性化する。
　・集中して読むことで、想像力が働き脳の働きが活性化する。
３）文章の組み立てや構成力がつく。
　・文章の書き方や書き方の特徴を知ることができる。
４）コミュニケーション力が高まる。
　・他の人が考えていることを理解する能力がつく。　などがあります。

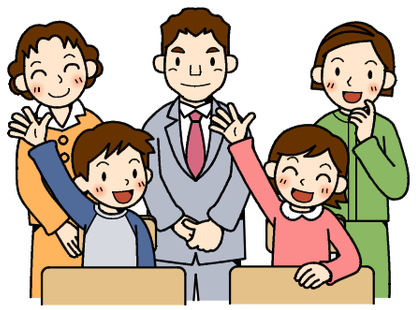
３日の日曜参観、お待ちしています

お休みの日に恐縮ですが、学校にお越しください。そしてできれば、次の３点をご参考にしていただきたいと思います。

まず、１点目は、お子さんの様子をご覧いただき、これまでと違う成長の証を見つけて、それを認める言葉をお子さんにかけてあげてください。その言葉でお子さまの自己肯定感がどんどん高まっていきます。次の日の学校での様子に変化が出てきます。やる気が出てくるのです。子どもたちの学びで大切なのは、自己肯定感が高まってくることです。自己肯定感が高まると自分が好きになり、自分で何でもチャレンジしてみようと主体的な姿が見られるようになります。身の周りも見えてきて友だち関係も良くなってきます。よりよい自分にどんどん変わっていきます。褒めることで子どもが活き活きしてきます。

２点目は、みなさんのお子さん以外の子どもたちにも目を向けていただきたいと思います。そのなかで、良い点や感心したことがありましたら、その子どもにもみなさんの素直な気持ちを言葉にして伝えてください。きっと伝えられた子どもも、そして伝えたみなさんも笑顔になると思います。

３点目は、子どもたちだけでなく、教職員の様子や校内の掲示物等の状況、施設や環境などもご覧いただき、ご意見をいただけたらと思います。現在は連携の時代です。学校は、保護者のみなさんをはじめ、様々な方々と子どもたちの健やかな成長という共通の目的をもって連携してこそ、優れた教育ができるのだと思っておりますのでよろしくお願いします。お気づきの点は、いつでも結構ですので､学校にご意見をお届けください。



多くのみなさまの参観をお待ちしています。引渡し訓練もよろしくお願いします。